

# 学生ボランティア・学生情報通信員広報誌

## 「WISSEN 7号」

2012年度の学生ボランティア・学生情報通信員による広報誌「WISSEN」をお届けします。今年度は学生ボランティア13名と学生情報通信員2名で活動しました。この広報誌「WISSEN」で活動をご紹介したいと思います。

### 2012年度の活動

- ブックジャケットの準備と掲示
- 学生ボランティア・学生情報通信員募集パネルの作成
- 新刊書案内のためのPOPの作成
- ビブリオバトル 参戦
- 「図書館長と話をしよう！」に参加
- クリスマスの飾り付け
- 「WISSEN」発行のための準備(推薦図書や感想文)

学生ボランティア・  
学生情報通信員  
募集中！！



活動に興味がある方、  
参加してみたいと思った  
方は、図書館スタッフま  
で声をかけてね♪



# 昨年度の活動の記録



## ☆ミーティング

図書館で定期的集まり、ミーティングを行っています。初顔合わせでは恒例の自己紹介をしました。最初は緊張していましたが、ミーティングを重ねるごとにみんな打ち解けていきました。

いつもみんなで意見を出し合い、計画を立ててから、活動しています。



年間の計画を立てます

## ☆ブックジャケットの準備と掲示



ひとつひとつ丁寧に押しピンで留めていきます

入館ゲート前の壁面に、図書のカバーを掲示しています。そのお手伝いをするのも私たち学生ボランティアの活動の一つです。

面白そうな図書がたくさんあるので、毎回何を選ぼうか迷います。

ぜひみなさん図書館へお越しの際はご覧ください。読みたい図書が見つかるかもしれませんよ♪

## ☆学生ボランティア・学生情報通信員募集パネルの作成

図書館新館2階の入口に学生ボランティアと学生情報通信員のコーナーがあります。以前、作成したパネルがかなり傷んできたので、新しく作り直しました！

ブックカバーやしおりも作成しているので、ぜひ使ってみてくださいね。



カラフルなブックカバーが人気です

## ☆新刊・新着書案内のためのPOPの作成

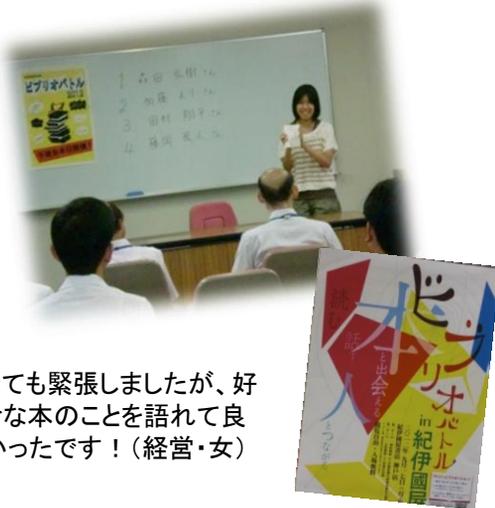
授業の合間や昼休み、放課後の時間を活用して行うのが、POPの作成です。図書館に新しく入ってきた、新刊・新着書の推薦文を書いています。POPの作成は台紙から作るので好きな柄を選んで、とても楽しいですよ！

新刊・新着書のコーナーは図書館新館2階の入口にあるので、ぜひ借りてみてくださいね。



カラフルに仕上がるように作業中

## ☆ビブリオバトル 参戦



とても緊張しましたが、好きな本のことを語れて良かったです！（経営・女）

有瀬・ポーアイキャンパスからそれぞれ参加者を募集し、書評合戦『ビブリオバトル』を開催しました。

『ビブリオバトル』とはプレゼン形式で発表者が自分のお勧め本を紹介し、最後にどの本を一番読みたくなったかを参加者全員が投票して「チャンプ本」を決定します。「スポーツのような、まったく新しいスタイルの書評合戦」です。

前年度に引き続き学生ボランティアの加藤さんが参戦しました！（スタッフより）

## ☆「図書館長と話をしよう！」に参加



館長と直接話せて自分の意見が言える機会なんてめったにないので、とてもいい経験となりました。（経営・男）

図書館長と学生との懇談会企画「図書館長と話をしよう！」に学生ボランティアリーダーの北原君が参加しました。有瀬キャンパスとポーアイキャンパスをテレビでつないでの懇談です。（スタッフより）



# ☆クリスマスの飾り付け

昨年度は「図書館コンチェルト2012」と題して、神戸学院大学管弦楽団のオーケストラ演奏とストーリーテラーによるクリスマスの物語のお話が12月22日に図書館内で行われました。

クリスマスの企画ということで、学生ボランティアと図書館スタッフで図書館内をクリスマス仕様に飾り付けました。



気をつけてね～



けっこう細かい作業だな～



クリスマスのコンサートが待ち遠しいです…



バッチリ！！

## ☆ 「WISSEN」発行のための準備（推薦図書や感想文）



毎年図書館でのボランティア活動の内容を広報誌「WISSEN」で紹介しています。掲載するイベント時の写真を選んだり、文章を考えたりと大変なことも多いですが、一年間を振り返る良い機会となっています。

## 学生ボランティア・学生情報通信員 お薦めの図書



### 「悪魔と詐欺師 薬屋探偵妖綺談シリーズ」 高里椎奈

有瀬館所蔵あり: 本館4階閲覧室  
請求記号 B000||B||た||95-3

このシリーズ全作品がお薦めなので、是非1巻から最終巻まで読んでいただきたいです。

中でもお薦めなのがシリーズ第3巻の本作です。場面の切り替わりがかなり多いので最初は戸惑うかもしれませんが、最終幕まで読み進めて初めて、多用される場面転換と表題の意味が理解できる構成になっておりますので、短時間で読破していただきたいです。

個性的なキャラクターが多く登場することもこのシリーズの魅力の一つで、本作では前2巻の登場キャラがほぼ出演しています。また、シリーズを通して作品と読者の橋渡しの役割を担うリベザルが、自分の世界を広げるため、成長しようとする姿が感動的です。

## 「楽園のカンヴァス」 原田マハ

有瀬館所蔵あり: 本館4階閲覧室  
請求記号 913.6||HAR||R

美術館員のティム・ブラウンに、とある絵画の真贋について鑑定の依頼が舞い込む。単身スイスに乗り込むティムだったが、そこには研究者の早川織絵も招かれていた。二人の鑑定によって絵画「夢を見た」の今後が決まるという。果たして「夢を見た」は本物なのか、そもそもルソーが描いたものなのか。

本書は、ミステリーではあるが、恋愛小説といっても過言ではない。そのため美術に詳しくない人にも楽しめるだろう。

## 「ムーミン童話全集」 トーベ・ヤンソン

有瀬館所蔵あり: 本館4階閲覧室  
請求記号 993.61||JAN||M

今、ムーミンの人气が再上昇しているようです。私はこの現象をととても歓迎します(私も5ヵ月ほど前に、この童話全集を読んだばかりなのですが)。

ムーミン童話は、人が生きるために必要な大切なことをたくさん教えてくれます。

深刻な自然災害に見舞われても、普段の在り方を失わないキャラクターたち。少し、というよりも、かなり自己中心的なキャラクターたちの、『自由』と『ありのままの存在』を尊重する態度。ほんとうの『個性』について考えさせられる物語です。

## 「兎の眼」 灰谷健次郎

有瀬館所蔵あり: 本館4階閲覧室  
請求記号 913.6||HAI||U

教師になりたい人！またそうでない人も是非読んで欲しい作品です。特に前者！！子どもにどう接するかについてもものすごく考えさせられます。人と同じ目線に立って真剣に向き合うことの大切さがひしひしと伝わってくる内容となっています。ここで質問です。あなたは担任の教師で、クラスに言葉が不自由でゴミ処理場に住んでいてハエをペットとして飼っている児童がいます。あなたならこの児童に対してどのような働きかけをしますか？本当に読んでほしいのでネタバレはしません。さあ！ノートとハンカチを持ってこの本を探してきて下さい。

## 「スカイ・クロラ」 森博嗣

有瀬館所蔵あり:本館4階閲覧室

請求記号 913.6||MOR||S

全部で六巻あるシリーズの、始まりにも終わりにもなる、刊行一冊目。空で戦う子どもたちの物語。しかし、その背景や詳しい素姓は明らかにされないまま、ただ静かに物語が展開していきます。生と死のその狭間で自分を探す姿が、とても悲しく、綺麗なものに思えました。詩的な文章が独特の世界観を際立たせていて、ぐっと引き込まれます。

## 学生ボランティア2012年度を終えて

私がこの図書館ボランティアを始めたのは、図書館の職員さんに誘われたのが、きっかけです。

図書館のアルバイトをしているときにボランティアもあるよと言われ、面白そうだと思い参加しました。

ボランティア活動は本当にたのしくて、しんどいことを無償ですというボランティアのイメージとは全然違いました。

活動内容は、ポップ作りや飾り付け、イベントへ参加するなどすることは色々あります。大変なようですが、どれも楽しくて自分のためになることばかりです。

例えばある活動では、朝霧小学校へ図書館の紹介をしに行きました。

さらに、あるイベントでは、図書館で外国の留学生の方々とお話しをしました。

このボランティアは、普段できない素晴らしい経験をさせてくれます。

ボランティアといえばゴミ拾いぐらいしか思いつかない私にとって、このボランティアはかなり刺激的で、身近な地域や、世界へとつながることができるきっかけとなり、私の視野をひろげてくれるものです。

(経営学部・1年・男)



私は大学に入学する前から、ボランティアに興味がありました。大学に入ってから、様々なボランティアに参加しましたが、今のところ続いているボランティアは図書館ボランティアだけです。他のボランティアは、頭では参加するのが良いとわかっているけど、届け出(参加希望)の時点で躊躇してしまいます。ボランティアをするため、という意識からの参加ではなく、自然と活動をしようと思ったボランティアが、私にとっては図書館のボランティアでした。静かな場所で、ゆったりと、自分の好きな図書館で活動するのはとても心地が良いです。ポートアイランドに移ってからも、続けていきたいと思っています。

(経営学部・2年・女)

私は、今年の2月のはじめから図書館ボランティアに参加させて頂きました。ということで、まだ一ヶ月ほどで活動は3回しか出来ていませんが、その3回とも楽しく活動出来ました。いつも活動に行くと司書さんが暖かく迎えてくれて、私は春休みにもかかわらず気づいたら図書館に行きたいという気持ちになっていました。「春休みやのに来たの？」とびっくりされてしまいました(笑)。図書館で活動できて今まで以上に図書館が好きになれたし、とても良い経験になりました。今後も、図書館に来る人が楽しくなるように、ポップをつけて本を紹介したり等と色々な活動が出来たらいいなと思います。

(人文学部・2年・女)

図書館をよりよくしていくボランティア活動を経て、自分も図書館に足を運ぶのが楽しくなった。

出席回数こそ少なかったが、それでも充実した活動内容になっていたと思われる。

他学部生や図書館の方々と交流することで、図書館に行く回数も昨年度より増え、読書量も増えた。

ボランティア活動が自分にとって良い刺激や経験になった証拠である。

多く来館することで、図書館のどこにどんな本があるのか詳しくなった。

今後も図書館を気持ち良く利用する人のため自分のために続けていきたい。

(法学部・2年・男)



一年間お疲れ様でした！

# 編集後記

## <スタッフより>

2012年度も学生ボランティア・学生情報通信員の皆さんが図書館で大活躍した一年でした。特に図書館でのイベントに参加して一緒に楽しんでくれたことに本当に感謝しています。また、新しいメンバーも増えたので、これからも図書館での活動を通して皆さんとの交流が深まればと思っています。

学生ボランティア・学生情報通信員の活動に興味がある方はぜひ図書館スタッフまで声をかけてくださいね！



発行日	2013年 6月 24日
編集	学生ボランティア・学生情報通信員
発行	神戸学院大学 図書館
印刷	神戸学院大学 図書館